

優良賞

「助け合い」とは何か

真鶴町立まなづる小学校五年 海野 伶音

「助け合い」と言う言葉から、イメージするものは、何ですか。

ぼくは「助け合い」とは、人と人がうれしくなる、たずかる事をし合うことだと思います。ぼくは、自分がいままでに「助け合い」だと感じる場面がいくつかありました。今日は、その中から二つしようかします。

一つめは、友達とのことです。前にぼくは友達に助けってもらった事があります。こまっていたぼくを、その友達は、たった一言で救ってくれました。ですが、まだその友達には恩返しをしていません。なので、今度その友達がこまっていたら、恩返しをしたいと思います。

二つめは、電車でのことです。ぼくは前に一人で電車に乗る日がありました。そしてぼくは電車に乗って空席がないかたしかめてみました。ですが空席はありませんでした。そしたら一人のおばあさんが、

「ここすわる？」

とこしがいたそうなのにもかかわらず、席をゆずってくれました。ぼくは、

「ありがとうございます。」

と言つてすわりました。そして電車をおりようとしたら、さつき席をゆずってくれたおばあさんがすごく重そうな、バックを持っていました。ぼくはさつき席をゆずってもらったので、バックを持ってあげました。なのでこれは、助け合いだと思います。

この福祉作文を書いてみて思ったことは、「助け合い」とはすごく良いということです。なぜかというと、「助け合い」とはわるいと思う所が一つも見あたらないからです。そういう助け合いを真鶴のみんながしたら、真鶴はきつと良い町になると、ぼくは思います。ぼくはそんな町をめざして、がんばっていききたいです。